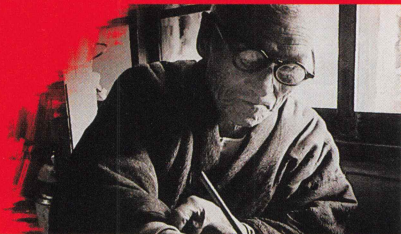


未来へ突き抜ける  
炭鉱力。ゴットン。

# 作兵衛さんと 日本を掘る

炭坑画家・山本作兵衛



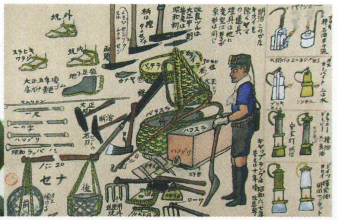
『三池 終わらない炭鉱の物語』  
熊谷博子監督作品

山本作兵衛コレクション  
日本初 ユネスコ「世界記憶遺産」  
登録10周年記念  
アンコール上映！

箕曲には低層が多  
かった狭み木々の多  
いのや根炭になら  
ぬのを天盤に残す  
ヤマもあつたからで  
尺無と名称とソソ  
も60年低い処は  
始り位あつた  
先山石山と先  
サシとも云うえ  
で一日の出炭は  
余マイト使わす  
炭丞五台一  
キリチン  
明治廿年代廿  
上米廿年廿  
月四十年代廿  
上下米廿年



1973  
山本作兵衛  
へ言うちや  
すまんが  
うちの嬢が  
手どき  
夜具や  
フトンの  
丸洗の  
ゴットン



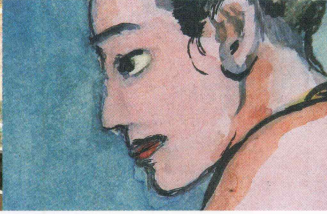
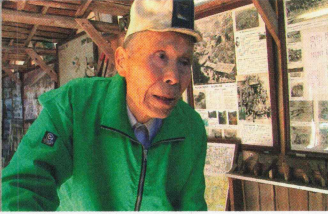
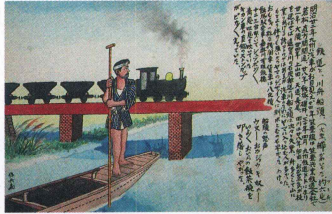
# 1964年、オリンピックの喧騒を遠くに感じていた労働者の見た風景は、 2020年、変わっているのだろうか？

熊谷博子監督作品

## 作兵衛さんと日本を掘る

出演：井上冨美、井上忠俊、緒方恵美、菊畑茂久馬、森崎和江、上野朱、橋上カヤノ、渡辺為雄

2018/日本/111分/DCP/ドキュメンタリー ©2018 藍 オフィス熊谷 www.sakubeisan.com



2011年5月25日、名もない炭坑夫の描いた記録画と日記697点が、日本初のユネスコ世界記憶遺産（世界の記憶）になった。暗く熱い地の底で、石炭を掘り出し運ぶ男と女。命がけの労働で、この国と私たちの生活を支えた人々の生々しい姿である。

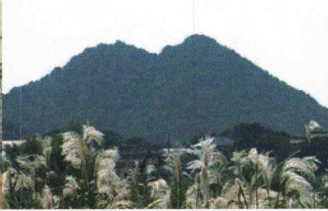
作者の山本作兵衛さん（1892-1984）は、福岡県の筑豊炭田で、幼い頃から働いた生粋の炭坑夫だ。自らが体験した労働や生活を子や孫に伝えたいと、60歳も半ばを過ぎてから本格的に絵筆を握った。専門的な絵の教育は一度も受けていない。そして2000枚とも言われる絵を残した。

作兵衛さんが炭鉱の記録画を描き始めたのは、石炭から石油へというエネルギー革命で、国策により炭鉱が次々と消えていくさなかであった。その裏では原子力発電への準備が進んでいた。作兵衛さんは後の自伝で「底の方は少しも変わらなかった」と記している。その言葉から半世紀。作兵衛さんが見続けた「底」は今も変わらず、私たちの足元に存るのではないかと。作兵衛さんの残した記憶と向き合い、その絵さながらに働いた元おんな坑夫の人生や、作兵衛さんを知る人々の証言を通じ、この国の過去と現在、未来を掘る！ゴットン！

### 監督の言葉

熊谷博子

当時の炭鉱の姿ではあるが、私には、そのまま現代に思えた。中に描きこまれた労働、貧困、差別の問題、戦争への記述、共働き坑夫の家事労働に至るまで今と同じだ。特にエネルギー産業の労働構造は、完全に重なって見える。前回のオリンピックは1964年。首都圏が好景気に沸く一方で、筑豊には失業者があふれていた。作兵衛さんをめぐる人々が語る、今につながる炭鉱の意味。作兵衛さんと、絵の中の名もない人々とともに日本を掘りたい、と切に思った。



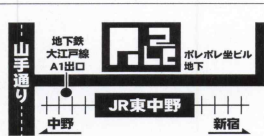
炭鉱を知ると、日本が見えてくる。

ポレポレ東中野

モーニング上映 2月26日(土) ~ 3月4日(金)

開映時間は劇場までお問い合わせください。

当日一般 1,500円 大・専門学生、シニア 1,200円



映画・展覧会の半券提示で相互割引あり

東京富士美術館

「山本作兵衛展」開催 原画114点が集結！

2月11日(金・祝)~3月13日(日) 月曜休館

大人 1,300円  
大高生 800円  
中小生 400円



Tel 03-3371-0088 https://pole2.co.jp/ JR総武線・地下鉄大江戸線「東中野駅」より徒歩1分

Tel 042-691-4511 www.fujibi.or.jp 交通案内